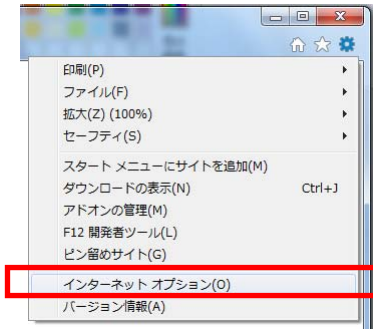


# JavaScript 及び CSS(Cascading Style Sheets)を有効にするためのブラウザの設定方法

## 1. Internet Explorer(IE)の場合

JavaScript と CSS、両方の設定が必要です。

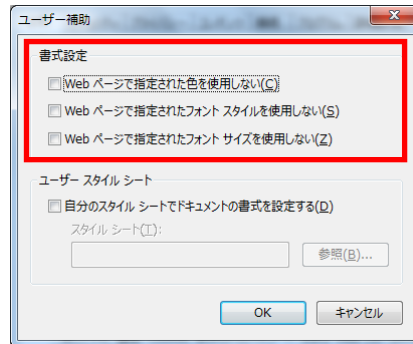
ツールからインターネットオプションを選択します。



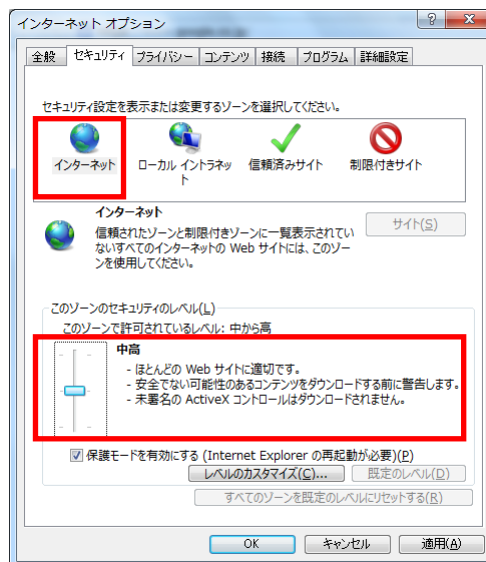
インターネットオプション画面が表示されます。

全般タブを選択し、画面下部のユーザー補助ボタンをクリックします。

ユーザー補助画面が表示されますので、書式設定ですべてのチェックが外れていることを確認し、OK ボタンをクリックします。これで CSS が有効になります。



次に、セキュリティタブを選択し、インターネットのセキュリティのレベルを「中高」に設定します。



適用を押すと、JavaScript の設定が有効になります。

OK ボタンをクリックするとインターネットオプション画面が閉じます。

## 2. Google Chrome (GC) の場合 JavaScript の設定のみを行います。

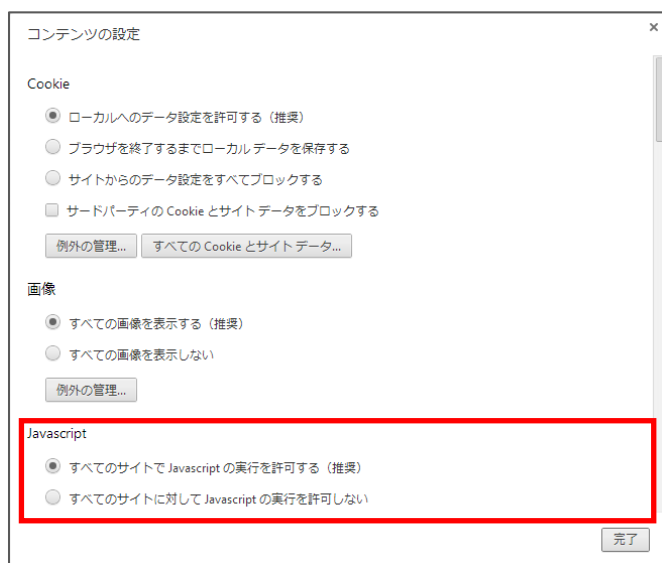


設定をクリックし、設定画面を表示します。

画面下部の「詳細設定を表示する...」という文字をクリックして、詳細設定画面を表示します。

「コンテンツの設定」ボタンをクリックすると、コンテンツの設定画面が表示されます。

「すべてのサイトで Javascript の実行を許可する(推奨)」を選択し、完了ボタンをクリックすると、有効になります。



### 3. Mozilla Firefox の場合

Firefox の初期設定では JavaScript 及び CSS の使用が有効になっています。

### 4. Apple Safari の場合

JavaScript の設定のみを行います。

設定画面を開き、セキュリティタブを表示します。

「JavaScript を有効にする」にチェックを入れると、JavaScript が有効になります。

